

Title	特集1 : 国際ワークショップ「海外における日本研究の動向と展望」 本特集について
Author(s)	宇野田, 尚哉
Citation	グローバル日本研究クラスター報告書. 2019, 2, p. 5-6
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/72079
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

【特集1】

国際ワークショップ

海外における日本研究の動向と展望

本特集について

宇野田 尚哉

本特集は、2018年8月3日に大阪大学豊中キャンパスで開催された国際ワークショップ「海外における日本研究の動向と展望」の記録である。登壇してくださった方々の多くが、当日の発表の内容を別途研究論文として公表なさる計画をお持ちであったため、本報告書には要旨を掲載するにとどめざるをえなかったが、ここに掲載されている要旨からだけでも本国際ワークショップの豊かな内容を窺っていただくことができよう。

大阪大学大学院文学研究科は、2017年度から、同研究科が実施部局となるかたちで、大阪大学全体に対し、大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」を開講している。そして、2018年度には、国際日本文化研究センターの安井眞奈美教授に非常勤講師としてご出講いただき、同プログラムの構成科目である「日本の民俗と宗教」をご担当いただいた。

ところで、安井教授の所属機関である国際日本文化研究センター（日文研）は、大阪大学大学院文学研究科も参加している「国際日本研究」コンソーシアムの幹事機関であり、両機関は同コンソーシアムを通じて協力関係にある。そこで、安井教授にご出講いただき「グローバル・ジャパン・スタディーズ」構成科目をご担当いただくにあたり、同コンソーシアムの「次世代育成事業」を活用して集中講義の一部を国際ワークショップとすることを計画した。さいわい、基調講演をしてくださった金容儀全南大学校教授をはじめ、国際日本文化研究センターに研究滞在中の外国人研究者の方々などが、安井教授の呼びかけに積極的に応じてくださり、本国際ワークショップを開催することが可能となった次第である。あらためて、本国際ワークショップをオーガナイズしてくださった安井教授、本国際ワークショップの開催にご協力くださった登壇者の方々、そして本国際ワークショップを「次世代育成事業」として採択してくださった「国際日本研究」コンソーシアムに、お礼申し上げたい。

本国際ワークショップは、次のような構成で開催された。

趣旨説明

宇野田尚哉(本研究科教授)・安井眞奈美(日文研教授)

第1部 日本研究の新展開

- 基調講演 韓国における日本研究の現状と展望 金容儀(全南大学校教授)
—「日本研究所」・沖縄・柳田国男—
発表①「マンガ・アニメ共栄圏」を問い直す 金日林(日文研外国人研究員)
コメント 北村毅(本研究科准教授)
リプライと質疑応答

第2部 日本研究の最前線

- 発表② Gender in Traditional Japanese Theatre
ペトコヴァ・ガリア(日文研外国人研究員)
発表③ From Amusement to Fire Prevention: The Kite Market of Ōji Inari Shrine
セシル・ラリ(日文研外国人研究員)
コメント 丸山泰明(天理大学文学部准教授)
リプライと質疑応答

総合討論

全南大学校教授で同校の日本文化研究センターの前所長でもあった金容儀氏による基調講演をはじめ、それに続く各発表も、いずれも充実した内容であった。前述した通り本国際ワークショップは安井教授による集中講義の一環として開催されたため、参加者の過半を学部生・大学院生が占めたが、みな熱心に参加してくれた。また、一般にも公開したので学外からの参加もあり、充実した討論を行うことができた。ここに収録できる内容が要旨にとどまるのは残念ではあるが、広くご参照いただけたら幸いである。